

大阪大学 文学部 入試問題 現代文問題と解答例について

大阪大学文学部の国語問題は、他の4学部問題とは趣旨が異なります。募集要項に「文学部の学生にふさわしい学力を判定するため、現代文のみならず、古文、漢文からも出題します」と記されているように、社会科学・人間科学を中心とする4学部の、論理的読解と要点整理を主とする現代文問題とは異なり、文学部では例年難度の高い小説が出題され、評論にしても、哲学・思想を中心とした人文学分野からの出題が目立ちます。

文学部では、国語は例年単なる「出題意図」ではなく、「解答例」を公開しています。8、9年ほど前までは、とりわけ小説問題で、これが本当に出題当局によるものかと疑問を抱くような「解答例」もありましたが、この4、5年の解答例は、「受験生が参照する価値」という点において、かなり高い水準のものになりました。過去3年分は大阪大のサイトで公開されていますから、参照するとよいでしょう。

以下の諸点に注意しましょう。

① 大阪大学文学部の現代文問題Ⅰ・Ⅱは、2021（令和3）年度を除くと、いずれも解答欄がすべての設問で同じサイズであり、約35字×4行程度です。これは、出題者サイドが解答字数にあまり拘泥していないことを意味しています。すべての設問で解答欄いっぱいを書く必要はない、ということでもあります。実際、出題当局の示した「解答例」でも、字数はまちまちです。（ただし、最近の解答例は、字数が増す傾向にあり、Ⅰが1問120字～150字程度、Ⅱはそれより少なめで、100字～150字程度です。それだけ採点基準が細かくなっていると推測されます。部分点について意識し、また、表現の細部にまで気を配りましょう）。受験生としては、90字～120字程度の幅で解答するのが、物理的には妥当でしょう。

② 出題当局の「解答例」は、とくに小説については、依然として疑問のあるものもあります。たとえば、本文中の比喩表現などは極力正しい解釈に努め、そのうえで適切な一般的表現へと改めて解答記述するのが、国語問題の常道（読解力・表現力のテスト）ですが、当局の「解答例」では、ときにそのまま本文中の表現が抜き出されて用いられていたりします。通常の模試などでは、それで十分に加点してもらえるような採点基準にはなっていないですね。安易に「こういう書き方でいいんだ」と甘く見ると、「そこは表現力をみるところだから、抜き出し使用は不可」などとなりかねないので、今までの学習方針に従った解答表現を心掛けるようにしてください。

③ 大問Ⅰはオーソドックスな設問ばかりです。解答も素直なものになります。設問要求に沿って、きちんと本文内容を踏まえて解答しましょう。客観性と論理性につきます。

大問Ⅱは、小説問題としては最も難しい大学入試問題となっています。誤読を誘発しやすい箇所がしばしば設問になっているので、安易に「想像力」に依存したりせず、きちんと（傍線部自身を含む）本文中の表現に対する正確な読解に従って、解答を導出してくだ

さい。とりわけ人物の言動に対しては、本文全体の展開や人物の心情描写を根拠に解答してください。部分的な着眼だけで「こんな気持ちかと思った」という程度では誤読の可能性が高くなります。

また、大阪大文学部の小説問題の特徴は「表現の説明」です。センター試験・共通テストを通して問われてきた「表現の説明」タイプの設問が1問は出題されるでしょう。「**表現の種類、表現の内容、表現の効果**」の**3点**を説明するようにしましょう。「「○○○」という表現は、主人公の▽▽に対する××という心情を、隠喩を用いることによって具体的に想像しやすく描いている」、といった解答です。「比喩・象徴表現」と「語りと視点」関連の出題がされやすいでしょう。「表現の違いにどんな効果の差があるか」といった設問もあり得ます。

④ 解答時間が大変厳しい（大問1問で約30分＝読解10分＋解答各5分×4問）のは変わらない傾向です。絶対に10分以内に読み切り、解く時間も各問およそ5分を守ってください。設問1問での平均的な記述時間は「書くために1分半、その前に考える時間は3分半」ということになります。**先に書くべきことが決まっていないと、1分半では書けない**ので、書きながら何度も本文を読み返して考えるなどということがないようにしましょう。「書くべきこと」とは、大きく見て以下の5点です。

- a 主たる構文（主一述）
- b aに代入する本文中の表現（主語、述部に用いる本文中のキーワード、指示語があれば、その指示内容）
- c 追加の部分点内容（主にa・bに付加する条件、意味、理由の説明。主たる構文を修飾する形で書く）
- d 傍線部の表現ニュアンスを正確に反映した解答表現（とくに結びのあたり）
- e 文末表現は設問要求の通りに結ぶこと

それでは、健闘を祈念します。